

**製品名: TTF-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19401**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NKX2-1
別名	NKX2-1; NKX2A; TITF1; TTF1; Homeobox protein Nkx-2.1; Homeobox protein NK-2 homolog A; Thyroid nuclear factor 1; Thyroid transcription factor 1; TTF-1
遺伝子 ID	7080.0
SwissProt ID	P43699
免疫原	抗血清はヒト TTF-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 27-76

**背景**

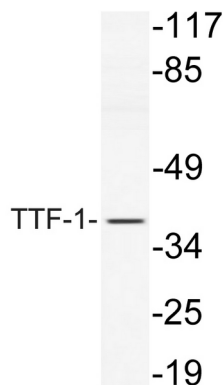
この遺伝子は、当初は甲状腺特異的転写因子として同定されたタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質はチロ

グロブリンプロモーターに結合し、甲状腺特異的遺伝子の発現を調節しますが、形態形成に関与する遺伝子の発現も調節することが示されています。この遺伝子の変異と欠失は、良性遺伝性舞蹈病、舞蹈アテトーゼ、先天性甲状腺機能低下症、新生児呼吸窮迫に関連しており、甲状腺がんに関連する可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。この遺伝子は、リボソーム遺伝子の転写に役割を果たす別の遺伝子、転写終結因子1と、シンボル/エイリアス「TTF1」を共有しています。[RefSeq 提供、2014年2月]、疾患：NKX2-1の欠陥が良性遺伝性舞蹈病（BHC）の原因[MIM:118700]。遺伝性舞蹈病（BHC）は、認知症を伴わない遺伝性舞蹈病としても知られています。BHCは常染色体優性遺伝性の運動障害です。症状の早期発症（通常5歳未満）と、BHC家系の一部において成人期に症状が軽減する傾向が見られることから、脳の発達障害に起因すると考えられます。BHCは非進行性であり、患者の知能は正常またはわずかに正常以下です。家族内および家族間でも、構音障害、軸性ジストニア、歩行障害など、症状のばらつきが見られます。疾患：NKX2-1遺伝子の欠損は、舞蹈アテトーゼ、甲状腺機能低下症、新生児呼吸窮迫（CHNRD）の原因となります[MIM:610978]。この症候群には、神経系、甲状腺、呼吸器系の問題が含まれます。機能：チログロブリン、チロペルオキシダーゼ、チロトロピン受容体などの甲状腺特異的遺伝子のプロモーターに結合し、活性化する転写因子。甲状腺分化表現型の維持に不可欠です。肺の発達とサーファクタントの恒常性維持に役割を果たす可能性があります。PTM：セリン残基がリン酸化されています。類似性：NK-2ホメオボックスファミリーに属します。類似性：1つのホメオボックスDNA結合ドメインを含みます。組織特異性：甲状腺および肺。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



TTF-1抗体を使用した NIH/3T3 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。